

情報活用の実践力(L)

課題を把握する力		情報を活用する力				情報手段を適切に活用する力	
問題の発見と計画		情報の収集・判断	情報の編集・加工	情報の交流・発信	表現	メディアによるコミュニケーション	情報手段の適切な活用
低学年		身近な人や場所から情報を収集することができる ¹ 絵や文章から必要な情報を収集することができる。 必要なことや好きなこと、興味のあることについて人に聞いたり、図書館を使ったりして情報を集めることができる。 事象やその変化の様子を観察等で調べることができる。 自分が好きな画像を収集することができる。 ①計測を通して長さやかさ、時刻などを調べることができる。			自分の思いや考えを表現することができる ¹ 情報の大事なところを落とさずに表現することができる。 ² 伝える順番に気を付けて話したり、かいたりすることができる。 ³ 自分の表現したものを見直して、修正することができる。 ⁴ 姿勢・口形に注意して、はっきりした発音で話すことができる。 自分の思いをお絵かきソフトを使って表現することができる。 日本語入力で簡単な文章を書くことができる。 楽しみながらパソコンでゲームなどをすることができる。 簡単な事柄を分類・整理して表やグラフに表すことができる。	自分の思いや考えをメディアを使って伝えることができる ¹ 身近な人に手紙や絵で、自分の思いを伝えることができる。 ² 電話やマイク等の機器を使って、自分の考えを伝えることができる。 コンピュータを使って友達と仲良く作業をすることができる。	楽しみながら情報手段に慣れ親しむことができる コンピュータの基本的な操作ができる。(起動・終了・保存など) 基本的な入力(キーボード・マウス)、出力(プリンタ・モニター)装置を使うことができる。 コンピュータを使って、自分の思いや考えを表現することができる。 デジタル機器を使って、画像をとることができる。 自分の思いを表現する手段とコンピュータが使えることが分る。 情報手段を使った学習に意欲的に参加することができる。
中学年	問題を意識し、追求することができる 物事の特徴をつかむことができる。 問題を構成している要素について考えることができる。 事象の比較から問題を見つけ出すことができる。 グループで話し合ったり、課題や学習計画をつくることのできる。 事象と現象の関わりをなかなかに問題を見つけることができる。	身近な施設やメディアを使って情報を収集することができる 課題や問題解決に必要な情報を収集したり選択したりする目的に合わせて、辞書や図鑑などの資料を活用して、情報を収集することができる。 公共の施設や身近な施設を使って、情報を収集することができる。 アンケート等の手段で必要な情報を収集することができる。 実験・観察・測定を通して必要なデータを収集することができる。(重さ・かさ・時間・温度・角度・変化の様子など) 複数の事象を観察し、比較することによって情報を収集することができる。 テレビや新聞などのメディアを使って、情報を収集することができる。 インターネットのサイトから必要な情報を収集することができる。	情報を加工・編集して分かりやすくまとめる 見学したり調査したことを、表やグラフ、図にまとめることができる。 資料を日時、場所など簡単な観点を決めてまとめることができる。 集めた情報をデジタル化し、加工・編集してまとめることができる。	まとめたことを人に分かりやすく伝える ¹ まとめたことを身近な人に話すことができる。 ² まとめたことを資料の形で身近な人に伝えることができる。 ファックスや電話、電子メールを使って情報を交流・発信することができる。	要点を落とさず筋道を立てて表現することができる ⁵ 筋道を立てて、自分の考えを伝えることができる。 ⁶ 表現したい中心が分かるように、かいたり話したりする。 ⁷ 間違いを正しく直すことができる。 相手や場に応じて、表現の仕方を考えることができる。 目的に応じて、文字の大きさや画像を工夫して資料を作成することができる。 ローマ字で文字を入力することができる。	メディアを利用して情報を交流する 壁新聞やプリント資料を使って、情報を交流することができる。 オーディオテープやビデオテープを使って情報を交流することができる。 コンピュータを使ってグループで協力して作業を行うことができる。	問題解決や表現活動の道具として情報手段を使うことができる 文字、音声、静止画などをデジタルデータとして加工することができる。 情報を収集する手段として、インターネットのよさが分かる。 学習に必要なアプリケーションソフトを扱うことができる。 データを記録メディアに記録することができる。 問題解決や表現活動、情報収集の手段として情報手段の活用が有効であることが分る。 電卓を正しく使うことができる。
高学年	主体的に問題解決活動を進めることができる 目的に合わせて課題を設定することができる。 事象の変化する条件に注意し、問題を見つけることができる。 課題を多面的に追求することができる。	課題意識をもって情報を収集することができる メディアやインターネットを使って、情報を効率的に検索することができる。 電子辞書を使って、情報を検索することができる。 調査したり、目的にあった資料を活用して情報を収集することができる。 公共の施設や工場などを見学して情報を収集することができる。 動画や静止画など、必要な情報をデジタル化して収集することができる。 インタビューなどの手段で、必要な情報を収集することができる。 条件を変えて実験・測定し必要な情報を収集することができる。 ①定や計算を通して、広さ(面積)やかさ(体積)を求めることができる。	目的や意図に合わせて情報を加工・編集することができる 事実・感想・意見などを区別してまとめることができる。 目的や意図に合わせて、事柄に軽重を付けることができる。 数量の変化や割合をグラフに表すことができる。 プレゼンテーションソフトを使って発表することができる。 ネットワークを使って、意見を交流することができる。 情報を加工したものをホームページ等に発信することができる。 メディア(新聞・放送)を使って、情報を発信することができる。	情報手段を使って意見を交流・発信することができる 電子メールを使って、疑問点を尋ねたり、自分の考えを伝えることができる。 学習のまとめや調べたことをプレゼンテーションソフトを使って発表することができる。 ネットワークを使って、意見を交流することができる。 情報を加工したものをホームページ等に発信することができる。 メディア(新聞・放送)を使って、情報を発信することができる。	目的や意図に応じて表現の仕方を工夫することができる 自分の意図が分かるように、話したりかいたりすることができる。 自分の立場や意図をはっきりさせて話すことができる。 ローマ字での表記ができる。	ネットワークを使って情報を交流する 電子メールを送ることができる。 ネットワークを使って、他の学級と交流することができる。	課題解決の道具として情報手段を適切に活用できる 文字、音声、静止画、動画などをデジタルデータとして効果的に加工することができる。 ローマ字入力で必要な文章や単語を入力することができる。 ネットワークを使った学習のよさが分かる。 課題解決の道具として、情報手段を適切に活用することができる。

<p>中学校</p>	<p>よりよい課題解決の方法を選択することができる。いくつかの課題の中から選択し学習を進めることができる。主体的に問題を発見することができる。実際の課題を想定して、具体的にまとめられる。課題解決の方法を選択することができる。</p>	<p>観点をはっきりさせて情報を収集することができる。 ①課題を分析し、集めたい情報の観点をあげて、必要な情報を収集することができる。 ②必要な情報を収集する方法が目的に合っているか判断することができる。 ③自己の考えを適切に表現するために、適切な情報を集められる。</p>	<p>ソフトウェアを選択して情報を編集・加工する。 文書処理ソフトウェア、表計算ソフトウェア、データベースソフトウェア等の中から選択し、目的にあった情報を創造することができる。 マルチメディア（動画、静止画、音楽、音声、文書など）を素材にして、作品を作る。 ホームページ作成ソフトを使って、情報を創造することができる。 情報を総合して、レポートを作成することができる。</p>	<p>自己の情報活用について振り返ることができる。 作品を相互評価し、情報に注意して総合的に価値判断ができる。 電子メールを使って、情報を発信することができる。</p>	<p>目的や場面に応じて、的確に自分の意図を表現することができる。 目的や場面に応じて、的確に表現することができる。 自分の立場を明らかにして、論理的に表現することができる。</p>	<p>交流をとおして、考えを深めることができる。 ネットワークを使って、学習を深めることができる。 グループ討議などで問題を分析することができる。 環境や立場、年齢の異なる人とメディアを通して交流することができる。</p>	<p>積極的に情報手段を活用することができる。 マルチメディアを扱ったソフトウェアを利用することができる。 課題解決のために情報手段を積極的に活用することができる。 自分の思いや願いの実現のためにコンピュータを効果的に利用することができる。</p>
------------	--	--	--	--	---	--	---

情報社会に参画する態度 (M)		情報の科学的な理解 (S)			
情報モラル	情報社会についての理解	情報手段の仕組みや特性	問題解決の手順と結果の評価	人間の知覚・記憶、思考についての特性	情報を表現するための各種の技法
低学年	<p>人とのかかわりのなかで情報の在り方に気づくことができる。</p> <p>1 嘘をついてはいけないことが分かる。</p> <p>2 あいさつや礼儀正しくすることの大切さが分かる。</p> <p>人を傷つける情報は、つくったり話したりしてはいけないことを知る。</p> <p>コンピュータなどの情報機器を約束を守って使うことができる。</p>	<p>コンピュータについての基本的な仕組みが分かる。</p> <p>コンピュータの周辺機器の名前が分かる。</p> <p>仮想と現実の区別を付けることができる。</p> <p>コンピュータが動作させるには、ソフトウェアが必要であることが分かる。</p>			
中学年	<p>情報を扱うときのルールや決まりを知る。</p> <p>3 礼儀正しくすることは、よりよい人間関係を築くために必要であることが分かる。</p> <p>4 公共物は大切に扱う必要のあることが分かる。</p> <p>情報のなかには正しくないものがあることを知る。</p> <p>情報を扱うときには守らなければならぬ決まりやルールがあることを知る。</p> <p>正確な情報を伝えることの大切さを知る。</p> <p>めあてをもってWebを利用することが大切であることを知る。</p> <p>Web上には、有害な情報があることを知る。</p> <p>情報の発信した先に人がいることが分かる。</p>				
高学年	<p>情報のなかには、守らなければならぬ権利があることを知る。</p> <p>5 相手の文化・立場・意見などを尊重することの大切さが分かる。</p> <p>個人情報の大切さが分かる。</p> <p>インターネット上には悪意のある人がいることが分かる。</p> <p>電子メールで交流する際に気を付けるべきマナーが分かる。</p> <p>他の人が作成したものは、著作権があり、無断で使ってはいけないことが分かる。</p> <p>情報を与えてくれた人に感謝の気持ちを表すことの大切さが分かる。</p>		<p>社会のなかで情報を有効に活用しているものと、問題点もあることを知る。</p> <p>情報や情報手段を有効に活用することによって生活が便利になってきていることが分かる。</p> <p>情報を有効に活用している産業があることが分かる。</p> <p>情報文化の「影」といわれる問題があることが分かる。</p>		
中学校	<p>情報モラルの必要性について知る。</p> <p>ネットワークを利用するには、ユーザ ID やパスワードが必要であることが分かる。</p> <p>学校外に発信できる情報と学校内にとどめておく情報があることが分かる。</p> <p>ネットワークにつながったコンピュータは、なかを見られるおそれがあることが分かる。</p> <p>不正アクセスは、法律で禁じられていることが分かる。</p> <p>情報を発信する場合には、著作権や相手のプライバシーを侵害してはいけないことが分かる。</p> <p>インターネット上には悪意のあるものもあることが分かる。</p> <p>(ショッピング・オークション等) ウィルス対策のために、ワクチンソフトが必要であることが分かる。</p>	<p>情報化が社会に及ぼしている影響を知り、かかわりについて知る。</p> <p>情報手段がどのように発達・発展してきたか分かる。</p> <p>情報機器の発達が生活をどのように変化させてきたか分かる。</p> <p>情報手段を効果的に活用し、生活に生かしていく方法を考えることができる。</p> <p>コンピュータシステムの利点を生かした利用方法が分かる。</p> <p>社会のなかにはルールがあり、情報社会のなかでも守らなければならないルールがあることを理解する。</p> <p>コンピュータ犯罪の深刻さが理解できる。</p> <p>インターネット社会によるコミュニケーション不足の問題点があることが分かる。</p> <p>コンピュータやインターネットの社会にはまわりこむと健康を害するおそれがあることが分かる。</p>	<p>情報伝達の仕組みとコンピュータの基本的な構成・機能を知る。</p> <p>コンピュータの基本的な構成が分かる。</p> <p>コンピュータがデジタル信号でデータを処理していることが分かる。</p> <p>入力装置の基本的な特徴を理解する。</p> <p>データの保存は、FD、HD、MO 等の補助記憶装置で行われていることが分かる。</p> <p>ハードウェアを動かすためには、ソフトウェアが必要であることを理解する。</p> <p>ソフトウェアには、OS やアプリケーションソフトなどがあることを理解する。</p> <p>情報の伝達には、双方向と一方向があることを具体的な例をあげて説明できる。</p> <p>情報通信ネットワークの高速性・正確性、機密性の特徴が分かる。</p> <p>Web ページの構造やプロバイダ・サーバの役割が分かる。</p>		<p>コンピュータの利用形態を知る。</p> <p>パーソナルコンピュータの利用形態には、文書処理、データベース処理、図形処理に分けることができることが分かる。</p> <p>データベース処理ソフトウェアの機能や用途が分かる。</p>